

## 令和2年度第3回大和市総合教育会議議事録

- 1 日 時 令和2年8月27日（木） 16時00分～16時30分
- 2 場 所 大和市役所 5階 研修室
- 3 出席者 市長 教育委員会（柿本教育長、青蔭教育長職務代理者、小松委員、前田委員、森園委員）  
市職員（政策部長他9名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議 題 （1）令和2年6月補正予算及び7月補正予算を受けた今後の取り組みについて
- 6 資 料 ・ 次第  
・ 【資料】 オンライン学習に向けた教育委員会の取り組みについて

---

### 【会議要旨】

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議題  
(1) 令和2年6月補正予算及び7月補正予算を受けた今後の取り組みについて  
所管部 : (資料について説明)

教育長 : ただいまの説明にもあるように、新型コロナウイルス感染症の影響により社会の在り方が大きく変わろうとする中、教育の在り方の転換も強く求められている。子どもたちの「学びの姿」や、今まで大和市が大切に取り組んできた「人の関わりの中での成長」、「読書を通じた学びの深まり」の上に、ICT機器を駆使した情報の主体的活用が加わることで、大きく変化していくものと考えます。授業の中はもちろん、放課後の寺子屋や家庭学習でICT端末を活用することで、学校サイトへのアクセスを中心として、一人一人の学びがより広がっていく。その点から、使いやすく、質の高い学校サイトの構築が急務であると考えています。また、ICT端末の1人1台導入は、教室に入りづらい子どもや、学校に登校できない子どもたちへの授業参加の新しい可能性を開くことにもつながる。実際、感染不安のために教室に入れず、別室でスカイプを通じて授業に参加したなどの事例が現在いくつか報告されている。今回のシステム導入で、こうした各学校での取り組みを一層推進していきたいと考えています。状況が大きく変わるとき、一番大切なのは意識の変化である。我々はもちろん、

学校教職員の意識が大きく変化することなしに目的は達成できない。新しく始まるこの取り組みが、大和市の子どもたちの成長を未来へとつなげるものであることを確信し、しっかりと取り組んでいきたいと考えている。

教育委員：これからは、教科書、ノート、筆箱と同じように、1人1台の端末が当たり前の勉強道具になるとの説明があった。小中学校の全ての子どもたちが、1人1台の端末を自分のものとして使用、活用できるようになることに、数々の教育指導の新しい時代の幕開けを強く感じている。また、その歩みの中で、人と人との繋がり、読書の大切さ、心の豊かさなどの、余白の部分の大切さを、しっかりと子どもたちに伝えながら、この新しい取り組みが、子どもたちの新しい学びとして、大きく前進することを期待し、その繋がりのために努力して取り組んでいきたいと思う。

教育委員：私は子どもたち1人1台で端末を利用できる環境が整うことを本当に嬉しく思う。子どもたちが自由に、必要なときに、学校でも家庭でも、端末を通して積極的に活用し、楽しみながら色んな事を学習してもらいたいと思う。同時に、この端末は、大変高価な精密機械なので、大切に扱わなければいけないこと、また、ネット利用については、子どもたち1人1人に対して、ルールに沿って利用することを、学校と連携してしっかり伝えていかなければならないと考えている。教育委員会としては、これからの子どもたちがこのような環境が当たり前になるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思う。

教育委員：私は、まず先生方がこの1人1台端末の環境を使いこなせるようになることが最も重要と考えている。この新しい環境に慣れるまで、先生方の負担は大きいものになると思う。そこで、先生方にとっては、ICT支援員や新しく配置されるGIGAスクールコーディネーターのサポートが必要であり、とても大切になる。しかし、いつまでもこの方たちを頼りにするのではなく、できるだけ早く自分たちで使いこなせるようにならなければならない。教育委員会としても、先生方のニーズを取り入れ、ニーズに合わせた充実した研修を行い、意識向上を図っていききたいと考えている。

教育委員：前回の総合教育会議において、市長より、児童・生徒1人1人にパソコン1台を整備することによる様々な効果に期待していると、大変ありがたい言葉をいただいた。我々、教育委員は、市長の期待に応えるべく、子どもにとって、教員にとって、何が必要で、今何ができるのか、検討を続けてきた。本日は、それを伝える機会をいただき、改めて感謝する。今回具体的にどう使っていくのかを伝えましたが、大きな可能性をまだまだ秘めており、工夫次第で子どもたちの学びは無限大に広がっていくものと深く感じている。その可能性を広げていくには、まず教員が、新しい教育の形へ取り組んでいくよう、今の意識を根本から変え

ていくことが必要かと思う。「子どもへの気遣い、気配り」これをなくして今日の施策が意味のあるものになるとは考えられない。まず、その点に特に目を向けて、しっかりと端末を活用する。先生にとって、一日も早く教科書・ノート・筆箱に並ぶ毎日の学習ツールとして当たり前になるよう、教育委員会としてしっかり取り組んでいきたいと思う。その先の近い未来には、逆に我々では想像もしなかったような使い方を子どもたち、生徒たち自身が見つけて、我々が子どもたち、生徒たちから学ぶ時代が来るとも感じている。また、そのように期待している。そのような新しい形の教育の未来が実現できるよう、どこよりも早く、積極的に取り組み、切れ目のない子どもの学びを充実させていきたいと思う。そして、近い将来、端末の更新を行わなければならない時期が必ず来る。今回、大変な額の予算をいただいたところだが、今後も同じような環境を設けるには、また多額の予算が必要となる。教育委員共通の想いとして、大変大きな課題が課せられたものと考えている。子どもたちの未来のため、何ができるのか、しっかりと考え、できる限りの工夫をし、市長の力をいただきながら、我々の責務を果たしていきたいと考えている。

市長 : 児童・生徒1人1台の端末整備や通信ネットワーク整備など一連の補正予算による充実した環境を活用し、児童・生徒それぞれのペースに応じた学習が進められることに加え、不登校など様々な事情を抱える子どもたちの学習機会の確保が図られるなど、素晴らしい取り組みとなることが話を聞いて良く分かった。説明をいただき感謝申し上げますとともに、是非、積極的に進めることを期待している。今後も教育委員会と情報共有を図りながら、新しい形による教育の推進に向けた必要な環境の整備について支援していきたい。

#### 4 その他

#### 5 閉会